

競 技 注 意 事 項

1 競技規則

本大会は、2020年公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則・大会要項・競技注意事項および監督会議の申し合わせ事項によって実施する。

2 招 集（招集所はバックスタンド裏北側付近に設置する。）

- (1) 招集完了時刻は、トラック競技15分前、フィールド競技30分前（棒高跳75分前）とする。
四種競技については、プログラムに記載している競技日程に従うこと。
 - ①受付は、競技者本人が受付用紙に○をつけ、役員の指示でスタート地点・ピットに向かう。
その際、アスリートビブス（ナンバーカード）・スパイク等の点検を受ける。
トラック競技は、シール式腰ナンバーカードを受け取ること。（終了後、各自破棄すること）
 - ②受付は、招集開始時刻から招集完了時刻までの15分間とし、完了時刻には競技場内へ移動をする。招集完了時刻に遅れた競技者は、欠場とみなし出場を認めない。
なお、現地招集時刻（点呼開始）は、招集完了時刻の5分後とする。
 - ③四種競技の受付は最初の種目を競技者招集所で行い、2種目目以降は、招集所で受付用紙に○をつけ、現地招集時刻までに現地に集合すること。
- (2) 2種目（リレー）を同時に兼ねて出場する競技者は「二種目同時出場届」、欠場する競技者は「欠場届」を記入し、当該競技の招集開始時刻までに競技者係に提出する。
なお、安易な欠場行為をした場合は、それ以後のすべての種目への出場を認めない。
- (3) リレーのオーダー用紙は、その種目の招集完了時刻の1時間前まで競技者係に提出する。
一度申告したオーダー用紙の差し替えは認めない。さらに、医務員の判断による変更は、出場選手の変更のみで、走順の変更は認めない。以上に違反した場合は、失格とする。
- (4) 提出書類の用紙は、招集所に準備する。

3 競技運営

- (1) レーン順・競技順はプログラム記載順とする。
 - ①トラック競技のプラスアルファの決定は記録順に決定する。ただし、同組で同記録の場合は着順を優先する。それでも判定できない場合は、1/1000秒まで読み取り着差の判定をする。それでも判定できない場合は当該競技者の抽選とする。
 - ②トラック競技決勝のレーン順は番組編成で決定する。
- (2) 不正スタートをした競技者は1回目で失格とする。四種競技においては、各レースでの不正スタートは1回までとし、その後不正スタートをした競技者はすべて失格とする。
- (3) スタート時の不適切行為については、注意扱いとしグリーンカードを提示する。ただし、その行為の繰り返しや、悪質なものについては、警告・除外の対象とすることがある。
- (4) リレーのテイク・オーバー・ゾーンは30mとする。受け取る選手のスタートは、ゾーン内から開始されなければならない。また、マーカーは各チームで準備し、使用は1カ所のみとする。競技終了後、前走者がマーカーを取ること。
- (5) 400mまでの競技は、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。
- (6) スパイクのピンは全天候用9mm以下（走高跳は12mm以下）とし、11本以内とする。
ピンは、少なくともピンの長さの半分が直径4mmを超えないこと。
- (7) 競技用具（棒高跳用ポールを除く）は、競技場備え付けのものを使用すること。
- (8) スタジアム・サブグラウンドには、競技者並びに役員・補助員以外は立ち入ることはできない。
選手は、係員の誘導により決められたゲートから入退場を行うこと。
- (9) 競技者・観戦者は、主催者が配布するリストバンドを必ず着用すること。着用しなかった場合スタジアム・サブグラウンド・招集所に入場できない。（観戦者は、スタンドのみ許可する）
- (10) 競技中・アップ中以外は、必ずマスクを着用すること。
フィールド競技の待機中も、ソーシャルディスタンスの確保に努め、自分の試技以外はマスクを着用すること。
- (11) 選手は、持参したタオルや飲食物を他の選手と絶対に共用しないこと。
- (12) フィールド選手への助言は、指定されたコーチングエリアで行うこと。常駐しないこと。

(13) フィールド競技の試技時間は次の通りとする。

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技	2分	3分	2分

*選手の試技開始は、挙手による合図とし「行きます」等の声は出さないこと。

(14) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

上げ方は次の通りとする。ただし、1位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

なお、練習の高さを2段階準備するので、招集後の公式練習時に競技役員に申し出ること。

	種目	練習	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	以降
男子	走高跳	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.73	1.76	1.79	3cm
		1.65								
	棒高跳	2.40	2.50	2.60	2.70	2.80	2.90	3.00	3.10	10cm
3.00										
女子	四種走高跳	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	3cm
		1.50								
女子	走高跳	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.48	1.51	1.54	3cm
		1.40								
女子	四種走高跳	1.10	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.43	3cm
		1.30								

4 表彰

表彰は、アナウンスによる成績発表10分後に行なうので、8位までの入賞者は入賞者待機所で待機すること。服装は、ユニフォームとする。

5 競技場内に持ち込む衣類・バッグ等について

別頁「競技場内における広告・展示物等の規則について」を原則とする。

今大会は招集所で衣類等の細かなチェックを行わないが、各自適切な服装を心がけるとともに、競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。

6 助力

(1) 競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出なければならない。

(2) ビデオ・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話、もしくは類似した機器を競技区域内に持ち込んで서는ならない。

(3) 招集所・競技場内の選手への物品の受け渡しや身体の接触は行ってはならない。

7 練習について

(1) 別頁「練習会場区割」の通りとする。

(2) 練習時の衣類・バッグ等については、上記5は適用しない。

8 その他

(1) スタジアム内の応援や返事(集団・個人ともに)は禁止する。拍手・手拍子は可とする。

(2) ゴミは持ち帰りとする。また、貴重品等の管理は各自で行い十分に注意すること。

(3) こまめな手洗い・うがいの励行、ソーシャルディスタンス(2m以上)の確保に努める。特に、スタンドでの観戦は周囲の人との距離を十分に確保すること。

(4) 体調を崩した場合、速やかに帰宅し家庭で安静にすること。(選手・役員・観戦者)